令和８年度広島県交通安全対策会議議事録（概要）

１　**日時**　令和８年 10 月 14 日（水）14:00～14:29

２　**場所**　県庁北館２階　第一会議室

３　**定数及び出席委員（代理出席を含む）**

定数：21 人、出席委員：17 人（うち代理出席者：８人)、欠席委員：4 人
（別紙出席者名簿のとおり）

４　**議題**

・第 12 次広島県交通安全計画（案）について

５　**担当部署**

広島県環境県民局県民活動課交通安全グループ
（交通安全対策室）
電話　082-513-2723（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）

６　**会議の内容**

○　開会

・委員総数 21 名中 17 名（代理出席含む。）が出席し、広島県交通安全対策会議運営要綱第３条に定める定足数を満たし、会議が成立していることを確認した。

○　知事あいさつ

○　議事：「第 12 次広島県交通安全計画（案）について

《説明》

事務局から、「第 12 次広島県交通安全計画（案)」について、資料により説明した。

《質疑内容・意見等》

（広島県環境県民局長）県民の交通安全に関して関係機関と連携し、着実に取組を進めたいと考えている。

具体的には、自転車の青切符制度が開始されたこともあり、交通ルールの徹底や、自転車乗車用ヘルメットの着用について、しっかり進めていきたい。

（議長：知事)広島県は、自転車乗車用ヘルメットの着用率が全国に比べて低い状況にある。広報啓発を含め関係機関の職場においても乗車用ヘルメットの着用を推進していただきたい。

（議長：知事）自動運転に関してはいかがか。

（広島県警察本部長）警察においては、自動運転を実施する際の許可手続きなど適正に取り扱うこととしている。

（大崎上島町長）大崎上島町では、交通事故死者ゼロ継続4、000日を達成しようと、地元の竹原警察署大崎上島分庁舎や安全協会などと連携し交通安全対策を行っている。

過疎地において自動運転は向いているのではないかと考えている。現在、海運の方で関係機関と連携しているところだが、地域振興や輸送の分野においても地域活性化につながると考えている。

（議長：知事）鉄道交通の安全に関してはいかが。

（中国運輸局安全防災・危機管理課長）遮断機や警報機のない踏切については、道路管理者、地方自治体及び鉄道事業者などの関係者と連携して、統廃合や遮断機・警報機を整備した第一種踏切への改良促進などを行っている。

《結論》

全員一致で、計画（案）のとおり決定された。

○　閉会

別　紙

令和８年度広島県交通安全対策会議出席者名簿

	機関名	職　名	氏　　名	出欠	代理出席者	
					職　　名	氏　　名
1	広　　島　　県	知　　事 (会　　長)	横田　美香	出		
2	中国四国管区警察局	局　　長	野本　靖之	出		
3	広 島 労 働 局	局　　長	宮原真太郎	代	監督課長	風間　武志
4	中国経済産業局	局　　長	向野陽一郎	代	総務企画部 総務課総括補佐	石田　太
5	中国地方整備局 広島国道事務所	所　　長	金納　聡志	出		
6	中 国 運 輸 局	局　　長	上田　大輔	代	安全防災・ 危機管理課長	國宗　裕司
7	広島地方気象台	台　　長	栗原　茂久	出		
8	広島県教育委員会	教　育　長	篠田　智志	出		
9	広島県警察本部	本　部　長	森本　敦司	出		
10	広　　島　　市	市　　長	松井　一實	代	道路交通局長	石飛　和博
11	広　　島　　県	環境県民局長	兼田みゆき	出		
12	広　　島　　県	健康福祉局長	矢野　好輝	代	健康危機管理 担当部長	増井　博文
13	広　　島　　県	土木建築局長	藤田　士郎	代	道路整備課長	山本　崇裕
14	広　　島　　県	都市建築技術 審議官	木村　成弘	出		
15	福　　山　　市	市　　長	枝廣　直幹	代	市民局長	落合　史典
16	大 崎 上 島 町	町　　長	谷川　正芳	出		
17	西日本高速道路㈱ 執行役員中国支社	支　社　長	本園　民雄	代	道路管制 センター長	八木　邦治
18	中国総合通信局	局　　長	片桐　広逸	欠		
19	広　　島　　県	副　知　事	山根　健嗣	欠		
20	広 島 市 消 防 局	局　　長	貞森　英樹	欠		
21	西日本旅客鉄道㈱ 中 国 統 括 本 部	本　部　長	佐伯　祥一	欠		

※本人出席：９名、代理出席：８名、欠席：４名　17 名出席／21 名